

駒大のジャーナ研って知ってる？いろいろやってるらしいよ。



Introduction 2020

Institute For Journalism & Policy Studies



FLICK!



FUN!



newspaper



HAND
BOOK



champion



YES!



HELLO!!



Camera



meeting



ジャーナリズム、政策研究所

Komazawa University

ジャーナリズム・政策研究所とは

駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所は、ジャーナリズムや政策に関する総合的な研究と、関連分野に進むことを志望する学生に対する特別指導を行う研究所です。特別指導は精選された講師陣によるジャナ研講座と自治的自主的な学びの学生活動の2本柱でおこなっています。これらの活動を通じ、ジャーナリズムや政策のありようを考えるとともに、未来を担う次世代をはぐくむことを目的としています。本年度の講座はオンラインで行います。みなさんのご参加をお待ちしています。

contents

#1	所長あいさつ	01
#2	学生活動	02
	コマスポ 部門	03
	フリーペーパー部門	05
	ニュースメディア部門	07
	ディベート・プレゼンテーション部門	09
	イベント紹介	11
#3	入所案内	13
#4	ジャナ研講座紹介	14
	担当研究員・指導員と講座内容	15



逢坂 巖

法学部 政治学科 准教授

駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所（通称：ジャーナ研）は、駒澤大学深沢キャンパスを拠点とする研究所です。教員と所属する学生、それと講義や指導を行っていただいている指導員・研究員から構成されています。

ジャーナ研の目的は、ジャーナリズムや政策に関する総合的研究と、関連分野へ進みたい学生諸君に対する特別指導です。研究成果は年1回発行している『研究所年報』などで公表し、特別指導は指導員・研究員による講義（「ジャーナ研講座」）と学生研修員による自治的自主的な学びの2本柱で行っています。

「ジャーナ研講座」では、新聞社・テレビ局・出版社の現役・OB/OGやフリーランスのジャーナリストの方々が多彩な講義を行い、学生の関心に答えております。講座紹介でもご覧いただけますように、これほどのバラエティに富んだ方々に親しい距離で学べるチャンスは日本全国でもそうそうないものと自負しています。

一方、学生による自治的な学びは、新聞やフリーペーパーの発行、映像制作やディベート活動などが各部門によって自主的におこなわれています。年間発行部数4万部以上、大学スポーツ新聞では屈指の存在である『駒大スポーツ新聞』もその学びの一環です。近年ではネットでの配信も好評なコマスポは、企画から取材、編集、広告の獲得まですべて学生研修員が行っています。また、「Komastory」などのフリーペーパーの発行や映像制作、ディベートやプレゼンテーション活動も盛んに行われています。

このほかにも公開講演会や研究会などの多彩なプログラムを通じて、われわれジャーナ研は激変するメディア環境におけるジャーナリズムや政策を考えると、未来に生きる次世代を育てていければと思っています。

今日の情報化時代、メディア時代に成長する若い人びとが、当研究所に参加して活躍されることを期待してやみません。

きたれ若人、ジャーナ研に！

駒大スポーツ部門

活動内容：新聞取材・制作

活動日：土日中心

所属人数：26名



フリーペーパー部門

活動内容：小冊子制作

活動日：火

所属人数：13名



ニュースメディア部門

活動内容：動画制作

活動日：木

所属人数：12名



ディベート・プレゼンテーション部門

活動内容：ディベート・プレゼン

活動日：月、水、金

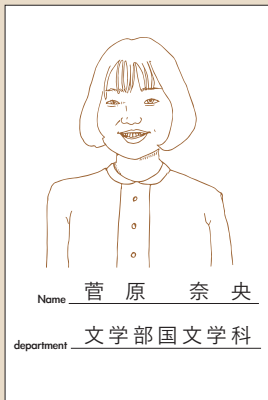
所属人数：15名



back number



駒大スポーツでは年4回（4月：春号、7月：夏号、11月：秋号、1月：箱根号）新聞を発行しています。こちらはコマスポが今まで作成してきた新聞の1面です。



駒大スポーツ編集部（通称：コマスポ）は本学体育会に所属している部活動を主に取り上げる機関紙として活動しています。普段は各部活動の試合や遠征などを取材し、試合に出場していた選手にインタビューをしています。そしてそのインタビューや試合中に撮った写真をもとに記事を書き、公式サイトや公式ツイッター、ほかにもブログなどで情報を発信します。これ以外にも年4回、紙媒体の制作も行っています。

部員全員で一つの新聞を作り上げる達成感はこのコマスポでしか経験できません。できあがった紙面を手にしたときの感動は何物にも代えがたい財産になると思います。

コマスポを引退した方の中にはメディア系に進まれた方も多くいます。今こういった業界に興味がある人、もちろんそうでない人も、コマスポで部員と切磋琢磨し合うことで技術の向上ができると思います。コマスポでしかできない経験を積み、充実した学生生活を一緒に送りませんか？

basic information

- メンバー
- 2年：9名
- 3年：17名

- 活動日
- 取材は主に休日

- 公式 HP
- www.komaspo.com
- 公式 Twitter
- @ komaspoofficial



flow of production

1. 取材

現地で選手のプレー写真を撮り、試合が終わった後にコメントを取ります。



2. 記事を書く

新聞制作期間に入ったら取材をもとに記事を書き、添削をします。



3. 編集期間

産経新聞社の会議室をお借りし、写真や記事のレイアウト構成を考えます。



4. 完成

最後にミスがないか全員でチェックして新聞が完成します。



取材日について

●休日

ほとんどの部活は、休日に試合が行われます。

(陸上、サッカー、バレー、テニス、バスケ等)

●平日

東都大学野球は基本、平日に試合が行われます。火曜日、水曜日、木曜日に野球の取材があります。

コマスポ 合宿について

年に2回(夏・冬)に、大学のセミナーハウスを借りて一泊二日の合宿を行います。取材の仕方、新聞制作の基礎を講師の先生を交えながら勉強します。まだ制作経験が少ない新入生にはコマスポの活動について一から丁寧に教えていきます。勉強会だけでなく、楽しいレクリエーションも行うのでコマスポメンバー同士の親睦も深められます。

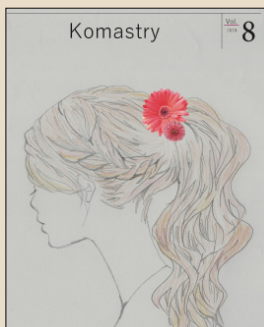
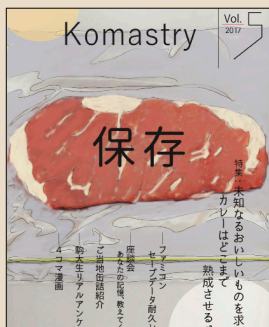
年間の発行部数はなんと約4万5000部を誇ります。駒大生なら一度は目にしたことがあるはずです!



取材を重ねる中で、将来プロ入りするような選手たちと親しくなれることも…。



back number



フリーペーパー部門では不定期にKomastryというフリーペーパーを発行しています。こちらはフリペ班が作成してきたKomastryの表紙です。



フリーペーパーとは、駅や学内に置かれている「誰でも無料で手に取ることができる冊子」のことで、ほかの3部門と違ってこの部門は発足してからの歴史が浅く、まだ土台ができていません。より良い作品に仕上げるにはどうすればいいのかわかりませんが、常に模索しながら活動しています。今では、将来ライターを目指す人や、InDesignの技術を習得したい人など、向上心の高いメンバーが同じ方向を向いて努力し、活発な活動ができています。近年ではSFFという学生フリーペーパーのイベントに作品を出展するなど、自分たちから発信することにも力を入れているため、他大学ともつながりをつくることができます。しっかりとした土台ができあがっていない分、1年生でもどんどん活動の幅をひろげることができ、日々成長を実感できることがこの部門の魅力です。ぜひ一緒にフリーペーパーを作りましょう！

Komastryの由来

KomastryとはChemistry(化学)と駒大を掛け合わせた造語で、駒大生の生活に化学反応を起こすという意味が込められています。「駒大ならではの大学生活を共有する」がコンセプト。

InDesignとは？

InDesignとは、書籍やパンフレットなどのデザインやレイアウトを行うためのアドビシステムズが提供しているソフトです。これを使いこなせると、本格的な雑誌などを作成することができます。

basic information

- メンバー
- 2年：3名
- 3年：10名

- 活動日
- 毎週火曜日 18:00頃
- (企画が決まり次第各自活動)

- 公式 Twitter
- @komastry

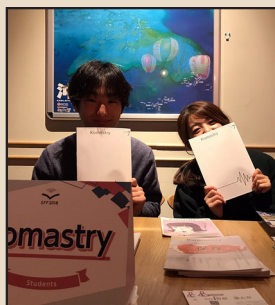


SFF への参加

Student Freepaper Forum(SFF)は学生フリーペーパーの祭典と言われる、フリーペーパーを制作する学生団体が全国から約100団体も集まる大規模なイベントです。プロのディレクターや写真家、漫画家の方から意見をいただいたり、他団体との交流を持つことのできる場となっています。2018年から2年連続で参加し、多くの方にKomastryを受け取ってもらうことができました。

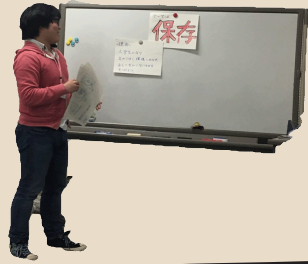


SFF



1. 全体会議

紙面を制作する前に、フリーペーパー班全員でテーマと内容を決める会議をします。班員の案を集めて大きなテーマを一つ設定し、そのテーマから企画を考えていきます。



2. 企画班会議

2、3人で1つの企画を持ちます。班員によっては重複して企画を持つこともあるため、取材日や企画内容が被らないように計画し、ラフ画と呼ばれる仮紙面案を全体に共有します。



3. 取材

しっかりと準備したら取材アポへ。アポが取れたら撮影、取材に行きます。ここで良い写真を撮れないと紙面が決まらないため慎重に確認しながら取材していきます。



4. 編集

Illustrator、Photoshop、InDesign これらのAdobeのソフトを使って紙面編集を行います。アプリは通常有料ですが、学生会が所有するパソコンに予め備わっているため自由に使うことができます。





ニュースメディア部門（通称：NM）では映像を扱った活動をしています。映像制作の基本となる、企画・構成・絵コンテ・撮影・編集など、全て一から自分たちで行い、映像について学んでいます。ジャー研では3台のビデオカメラと編集ソフトを所有しているため、機材も充実しており、より深く映像について学ぶことができます。

最近ではYouTubeに始まり、NetflixやAmazonプライム・Huluなどの映像配信サービスも充実してきているため、今まで以上に多くの映像作品に触れることが容易になってきました。そこで、作品を観るだけでなく、創ることで新たな視点を見出すことができるかもしれません。ぜひ自分の想像を映像によって可視化してみませんか？ぜひ一緒に映像を作りましょう！

basic information

- メンバー
- 2年：4名
- 3年：8名

- 活動日
- 定期：毎週木曜日 18:00 頃から
- （企画が決まり次第各々活動）

- 公式 Twitter
- @mass_nm



flow of production

1. 企画会議

各々企画を考えてきて、みんなで話し合います。どんな動画にしたいか、映像のジャンル(CM・ドラマ・ショートムービーなど)具体的なイメージなどを決め、構成を考えます。



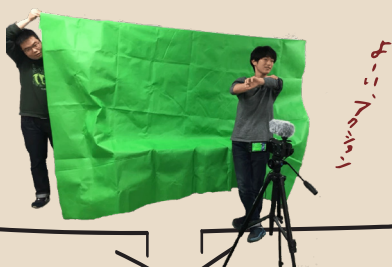
2. 絵コンテ作成

会議で決定した映像のイメージをイラストによって具現化します。ここであらかじめ必要なカット割りを用意します。この絵コンテによって制作チームのイメージを共有します。



3. 撮影

絵コンテで制作したカット割りをもとに撮影を行います。NMでは主に3台のカメラを使用しています。また、照明やグリーンバック、マイクなど機材も充実しており、本格的な撮影が可能です。



4. 編集

最後に編集です。NMではジャナ研が所有するパソコンでAdobe Premiere Proを使用しています。編集ではカット・テロップを入れたり、様々な効果をつけて見栄えをよくします。最初は難しいですが、先輩に教えてもらいながらやると意外と簡単にできます。

Adobe Premiere Pro とは？

Adobe Premiere Pro とはアドビシステムズが提供する映像編集ソフトのことです。現在は業界シェア No.1 を誇るソフトです。主にプロの編集者が使用しており、近年では多くの YouTuber も使用しています。MV や PV ・ 映画 ・ テレビ番組など皆さんが普段目している映像作品の多くがこの編集ソフトで作られています。基本は定額制なので年間で数万円かかってしまいますが、ジャナ研で所有している物なのでお金の心配はありません。

映像を作る楽しさ

皆さん、一度は映像を作りたいと思ったことはありませんか？テクノロジーの進歩により、今まではテキストや音声とでしか伝えることができなかったものが”映像”という新たなツールによって表現の幅が広がりました。

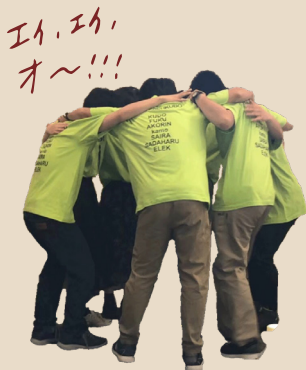
映像と言っても様々な種類があり、TV で言えばドラマ・バラエティ・CM・アニメ etc... そのドラマとじっほひとから十把一絡げにしてもサスペンス・ラブコメ・コメディ・ホラー・SF など数えだしたらきりがありません。どんな映像作品も撮影方法・編集の仕方など創りが全く変わってきます。その違いは作品を観ているだけでは伝わってこないでしょう。映像を自らの手で作ることで映像について深く学ぶことができ、過去に見た作品でも今までとは違う良さを味わうことができます。それは、映像を作ったことがある人にしかわかりません。そこに、映像を作ることの楽しさがあります。

いつも見ているあの YouTuber のような編集があなたにもできるかも…。



ディベート・プレゼンテーションとは？

我々の行なっているディベートとは、ある公的な問題（例：救急車有料化等）については側（賛成意見）、否側（反対意見）の異なる立場からそれぞれの意見を交わし、議論する活動のことです。またプレゼンテーションは、ある業界を想定し、その社員になりきり、会社はその業界を生き抜くためのアイデアなどを考えてパワーポイントを用いて発表します。まさに“言葉で戦うスポーツ”です。



過去扱ってきたテーマ

●ディベート

2018年春 救急車有料化の是非

2018年夏 高速道路無料化の是非

2019年春 消費税引き上げの是非

2019年夏 救急車の有料化の是非

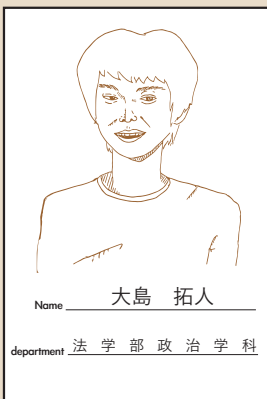


●プレゼンテーション

2017年 即席乾麺業界における利益拡大に向けた新たな事業の提案

2018年 製パン業界における利益拡大に向けたビジネスプランの提案

2019年 かっぱ寿司の利益向上に向けた新たなビジネスプランの提案



ディベート・プレゼンテーション部門はその名の通り、ディベートとプレゼンテーションを行っています。活動の主な特徴としては、個人活動ではなく複数の班に分かれて活動すること、1年間を通してではなく2〜3ヵ月間の活動を季節ごとに年3回行うことの2つが挙げられます。ディベートもプレゼンテーションも一見難しそうに思えるかもしれませんが、先輩が教えてくれますし、なによりただ大学生活を送るだけでは味わえない経験ができます。人前で自分の意見を臆さずに言える力、論理力などを養うことができるだけでなく、ワード、エクセル、パワーポイントを扱う技術も向上するので、授業で出た課題などをスムーズにこなせるようになります。ぜひ一緒に活動しましょう！

basic information

●メンバー

2年 7名

3年 8名

●活動日

月・水・金

●活動期間

春ディベ 3月～6月

夏ディベ・プレ 8月

秋プレ 9月～11月

4～6月

春季ディベート

3月から活動している2、3年生に、5月から新入生も加わって本格的な活動がスタートします。初めてのディベートで不安に思うかもしれませんが、心配はいりません。先輩もほとんどがジャナ研に入ってからディベートを始めているので、基礎の基礎から親身になって教えてくれます。

8月

夏季ディベート・プレゼンテーション

春季ディベートと異なる点は、1、2、4年生で活動を行うところです。年度によって異なりますが、ディベート2週間、プレゼン1週間と短期間で集中して行われます。班のメンバーでおでかけしたり、花火をすることも…。4年生との仲も深まり思い出に残る夏になること間違いありません。

9～11月

秋季プレゼンテーション

1、2年生のみでの活動です。パワーポイントを駆使して企画書や発表用のパワーポイントを製作します。

パワーポイントはゼミや就活、また、就職してから使う場面が多くあります。1年生の早いうちから使い慣れておくことで、ほかの学生より一歩進んだ状態から始めることができます。



身につく能力

ジャナ研のディベートでは主に三角ロジックを使って文章などを組み立てて行きます。そして、ディベートの試合では各々の発言時間に制限なども設けられているため、学校の授業やほかのサークルにはない、論理力を身に付けることができます。また、プレゼンテーションでは企業や業界について徹底的に調べた上でプレゼンをするので就職活動で必要となってくるスキルや知識を習得できます。

本番の様子

ディベート、プレゼンテーションどちらもホテルの会議室や広間の一室を借りて行います。ディベートの本番は班でおそろいのTシャツを作ったり、プレゼンテーションの本番は全員スーツを着たり、この日のために準備してきた活動の成果を発揮するべく、どの班も真剣そのものです。本番が終わったらホテルに一泊し、本番まで同じ方向を向いて努力してきた仲間と活動を振り返ります。色紙にメッセージをかいたり、プレゼントの交換をするなど思い出に浸ります。



三角ロジックとは、データ（資料）、論拠（根拠）、主張（言いたいこと）の3つを組み合わせたロジック（論理）のことです。



ジャーナリズム・政策研究所では年間を通して様々なイベントを行っています。
8月：夏旅行 12月：忘年会 2月：追い出しコンパなどです。
普段関わりのない他部門の人とも交友を深め、思い出を作ることができます。

8月

夏旅行

ジャナ研夏の恒例イベント夏旅行は熱海で行われます。海に入ったり、ホテルで海の幸を満喫します！1年生～4年生と全学年から多くのジャナ研生が参加し、レクリエーションなどで学年の垣根を超えて楽しめます。



12月

忘年会

忘年会は年末、神奈川県藤野のコテージで行われます。鍋を作ったり、バーベキューをしたり、年度によって様々ですが、4年生と最後の思い出を作ることができます。



2月

追い出しコンパ

2月初旬。お世話になった4年生を送り出す追い出しコンパが行われます。美味しい料理を食べたり、この日のために各学年が準備してきた動画を見ながら4年生に楽しんでもらいます。また、色紙やプレゼントを渡して次の舞台に羽ばたく卒業生を送り出します。



ジャーナリズム・政策研究所には以下の3つの入所資格があります。

1. 学生研修員 本学在学学生対象。ジャーナ研の学生フルメンバーとして2つの特別指導＝ジャーナ研講座と自治的自主的学びである各部門の学生活動に参加できます。また、深沢校舎にある研修施設（学生作業室・学生会議室・資料室）が自由に利用できます。入所にあたっては、入所試験を受ける必要があります。会費が発生しますが、新型コロナウイルス感染症防止に係る学生支援の一貫として **2020年度は会費は免除**です。
2. 学生聴講員 本学在学学生対象。ジャーナ研講座に参加することができます。入所にあたっては、登録をおこなう必要があります。 **2020年度は無料**です。
3. 一般聴講員 一般社会人、他大学生対象。ジャーナ研講座に参加することができます。入所にあたっては、登録をおこなう必要があります。会費が発生します。

	特別指導		研修施設	入所手続き	会費
	学生活動	ジャーナ研講座			
学生研修員	○	○	利用可	試験	本年度免除
学生聴講員	×	○	利用不可	登録	本年度無料
一般聴講員	×	○ 3講義まで	利用不可	登録	年 10,000 円

〈ご注意〉

- ・試験や登録の申し込みはジャーナ研のホームページでおこないます。
- ・学生研修員に対しては5月11日からオンラインの入所説明会を開催中です。
- ・一般聴講員の会費納入には期限がありますので、ご注意ください。

以上を含め、入所資格や手続き、会費などの情報はジャーナ研のホームページ（入所案内）で必ずお確かめください。

右のQRコードをスマホなどで撮るとリンクします。アドレスもご利用ください。

<https://www.komazawa-u.ac.jp/research/lab/mass-communication/about.html>



4 ジャーナ研講座案内

ジャーナリズム・政策研究所では、新聞社・テレビ局・出版社の現役・OB/OG やフリーランスのジャーナリストの方々などの多彩な講座によって、学生たちの関心に答えております。本年度はオンラインでおこないます。

2020年度 公開講座時間割				
	火	水	木	金
1 時限 14:50 ～ 16:10	マーケティング調査 から始まる～そして商品が生まれる～(坂本律行)	【後期】 体験的ジャーナリズム論 (山田克)	この世界、そしてニュース の見方(桑原聡)	
2 時限 16:30 ～ 17:50		【前期】 1億人のための起業家的 ジャーナリズム入門～『一個 人』に何ができるか～ (常井健一)	【前期のみ】 メディアリテラシー向 上講座～実例で探るメディ アのウソとホント～ (玉手義朗) 【後期のみ】 読む・書く・話す・理解し 考える～新聞記事を活用し 就活を視野に入れたトレ ニング～(真下聡)	日経論説講座 (日本経済新聞 論説委員・編集委員)
3 時限 18:00 ～ 19:20		【後期】 1億人のための起業家的 ジャーナリズム入門～『一個 人』に何ができるか～ (常井健一)	出版社の現場から～本づく りの舞台裏～ (下平尾直)	こうしてドキュメンタリー は創られる～悪戦苦闘する 制作現場～ (新山賢治)

・講義時間と回数

1回の講義は80分です。前期・後期それぞれ8回で構成されています。

・講義期間

2学期制(各学期は9週間。間に1週間の休講期間があります)。

<前期> 5月26日(火)～ 7月24日(金) ただし、6月23日(火)～26日(金)は休講。

<後期> 9月15日(火)～11月13日(金) ただし、10月27日(火)～30日(金)は休講。

・認定書/修了書制度

各講座を修了した学生研修員と学生聴講員には「認定書」、一般聴講員には「修了書」を交付します。

オンライン講義の方法や後期の対応などの最新情報は、ジャー研のホームページ(講義案内)でお確かめください。

右のQRコードをスマホなどで撮るとリンクします。アドレスもご利用ください。

<https://www.komazawa-u.ac.jp/research/labo/mass-communication/lecture-guidance.html>





【マーケティング調査から始まる～そして商品が生まれる～】

坂本 律行 先生

(株)坂本総合研究所 代表

企業は調査を行って、自らの商品やサービスに対する意思決定をしています。新しい製品やサービスのアイデアを洗い出し、ふるいにかけて絞り込む、コンセプトをまとめ、調査を行い、分析する。消費者の手元に商品とサービスを届ける。多くの消費者の購入へ至るまでのあらゆるステップがマーケティングです。市場における消費の動向に関するファクト（事実）を知ることが調査そのものです。それが商品やサービスの開発の出発点となります。

この講座では自分が手にする商品が手元に届くまでのストーリーを感じられるようにお話していきます。

【体験的ジャーナリズム論】

山田 克 先生

共同通信社 放送報道局委員

政治や経済、海外の出来事からスポーツまで、幅広い分野の取材・報道に関わり続けてきた教員による、プロとしてニュースとどう格闘してきたのか、そのとき何を考えたのかを紹介し、ジャーナリズムの役割と課題、克服すべき問題点などを体験的にお話します。現在進行形のニュースもどんどん取り上げます。

【1億人のための起業家的ジャーナリズム入門～『一個人』に何ができるか～】

常井 健一 先生

ノンフィクションライター

本講義では、出版社、新聞社、ネット企業、NPOに属した講師の試行錯誤を踏まえ、起業家的ジャーナリズムの方法論とキャリア形成を検討・分析し、「一個人」の可能性と限界を探ります。日本の大学や報道機関での講座で、ジャーナリストの起業家的側面に着目する事例は稀です。既存の枠にとらわれない報じ方や働き方を模索したい方、メディア企業を離れてもジャーナリズムの仕事を続けようとする方の受講も歓迎します。

- 前期 企画と取材の技能→特ダネ記事から読み解く／現場取材やインタビューの実践
- 後期 キャリア設計と暮らし→既存メディアから独立したライターや編集者との対談

【この世界、そしてニュースの見方】

桑原 聡 先生

産経新聞社文化部編集員・元「月刊正論」編集長

前半は講師が産経新聞に隔週で連載している時事コラム「モンテニユとの対話」を素材に、コラム執筆の舞台裏を明かしながら、決定稿にいたるまでプロセスを解説します。

後半は、日々の新聞記事を素材に、フェイクニュースや巧みな誘導記事に嵌ってしまわぬよう、ニュースを読むさいの「技術」について説明します。いずれも、参加者の方々に質問しながらの授業となります。

【メディアリテラシー向上講座～実例で探るメディアのウソとホント～】

玉手 義朗 先生

エコノミスト・元TBSテレビディレクター

私たちはテレビや新聞、インターネットなど様々なメディアから発信される情報に囲まれています。しかし、その中には誤った情報も多く、「やらせ」や「ねつ造」も頻発、安易に信じて、とんでもないことになりかねません。

情報を鵜呑みにするのではなく、自らの力で真偽を判断することが「メディアリテラシー」です。

講座ではメディアの裏側を探りながら、メディアリテラシーを高め、正しい情報の活用方法を身につけていきます。

【読む・書く・話す・理解し考える～新聞記事を活用し就活を視野に入れたトレーニング～】

真下 聡 先生

朝日新聞ジャーナリスト学校ディレクター

本講座は主に就活準備に入る大学3年生をターゲットとし、新聞記事などを素材に「読む・書く・話す・理解し考える」力を養う具体的なトレーニングを行います。理想は大学2年から始めることですので2年生、1年生の方ももちろん歓迎します。

マスコミ志望者はもちろん、そうでない方もこれから生き抜いていく上で必ず役に立つ内容です。

講座の中では、個人のパソコンやスマホを使います。授業中に講師とメールのやりとりをすることもあります。

【出版社の現場から～本づくりの舞台裏～】

下平尾 直 先生

(株)共和国 代表

読書や本が好きな方におすすめの講座です。

みなさんは「出版」や「編集」という言葉から、何を連想するでしょうか。ドラマ化されるような華やかなギョーカイ？ それとも「出版不況」と呼ばれるように暗くて地道で大変な仕事？ この講座では、本をつくって読者の手元に届くまでの基礎的な知識はもちろん、各界で活躍中のゲストにお招きしたり、本の帯や出版広告を作成したりしながら、具体的に実践的な本づくり＝編集のあれこれを身につけていきます。

【日経論説講座】

日本経済新聞 論説委員・解説委員

日本経済新聞の第一線の論説委員らが交替わりで政治、経済、国際などの各専門分野の背景を講義します。膨大な量の情報がインターネットなどを通じて流れていますが、大事な情報を選んで他の情報とつき合わせてニュースの全体像を把握するのはそう簡単ではありません。ニュースの背景にある歴史的な経緯や人物像を紹介しながら、立体的な現代を描く講義を目指します。

【こうしてドキュメンタリーは創られる～悪戦苦闘する制作現場～】

新山 賢治 先生

(株)企画舎 GRIT 代表・元NHK理事

この講座は、テレビ・ドキュメンタリー制作の現場で企画はどのようにして生まれ、制作者はどのように悪戦苦闘し放送にたどりついたか。また、放送後の反響にどう向き合ったかを辿りながら、メディアにとってテレビドキュメンタリーの果たしてきた役割を再確認する時間を受講者のみなさんと共有したいと考えております。

2020 年度駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所パンフレット

編集 / ジャーナリズム・政策研究所フリーペーパー部門

ジャーナリズム・政策研究所事務室 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL : 03-6381-8901 FAX : 03-3702-9626 Email : janaken-jimu@komazawa-u.ac.jp

